

## 衛生

管内の水道普及率は、平成26年度末現在で92.4%となっており、全道水準(98.1%)を下回っています。

また、管内の生活排水処理については、下水道の普及が進んでいないこともあり、平成26年度末日現在の汚水処理人口普及率が71.9%と、全道水準(94.5%)を大幅に下回っていますが、それを補完するように、合併処理浄化槽の普及率は9.7%と全道水準(2.9%)を大きく上回っています。

今後も、生活排水処理施設の一層の整備促進が望まれます。



日高町日高浄化センター

■水道 (H27.3.31現在)

区分	行政区域内人口(人)(A)	許可等施設数				現在給水人口(B)	普及率(B/A)(%)
		上水道	簡易水道	専用水道	計		
管内	70,387	4	15	7	26	65,042	92.4
全道	5,385,211	99	256	347	702	5,284,412	98.1

(環境生活部環境局環境推進課「北海道の水道」)

■汚水処理 (H27.3.31現在)

区分	行政区域内人口(人)(A)	公共下水道	農業集落排水施設	漁業集落排水施設	個別処理(合併処理浄化槽)(C)	処理人口(B)	生活排水処理施設普及率B/A(%)	合併処理浄化槽普及率C/A(%)
管内	70,570	42,181	2,272	91	7,339	51,883	73.5	10.4
全道	5,405,947	4,888,137	63,238	10,104	160,404	5,121,883	94.7	3.0

(建設部まちづくり局都市環境課「北海道の下水道」)

## 交通安全

平成28年の管内の交通事故発生状況は、発生件数、傷者数前年を下回りましたが、死者数は増加となりました。

発生件数は69件と、昭和40年代に統計を取り始めて以来最も少なく、7年連続最小件数を更新しています。

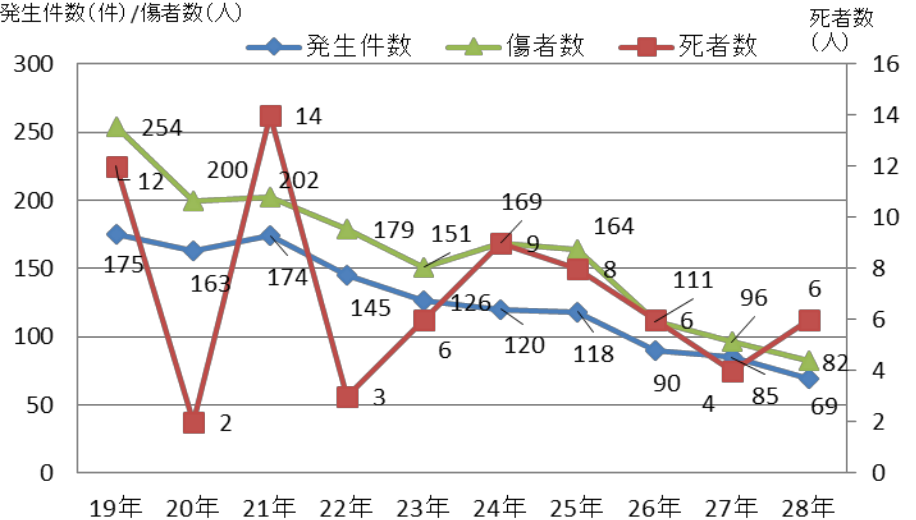
死者数は6人と、前年を2人上回りましたが、このうち高齢者歩行者による横断中によるものが3件発生しています。

管内の交通事故発生状況を過去10年の推移でみると、発生件数は半分以下、傷者数は3分の1以下に減少し、死者数も7年連続して一桁で推移するなど、総じて漸減傾向が続いています。

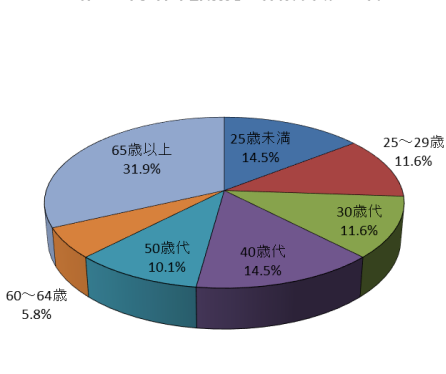
しかし、加害者、被害者ともに高齢者による事故が多数発生していることから、今後は、高齢者に対する啓発を強化するなど、各種交通安全対策の推進が重要です。

### ■交通事故の推移

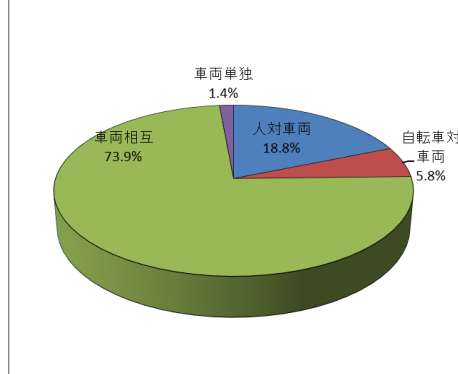
発生件数(件)/傷者数(人)



### ■第一当事者年齢別発生件数(平成28年)



### ■事故類型別発生件数(平成28年)



### ■法令違反別発生件数(平成28年)

